

刊夕日五廿月四

常 新 日 報

定価 一円五角
 廣告料 五割
 日曜祭日の翌日休刊
 印刷所 常新日報印刷株式会社
 電話 六三〇

師道廢らす

在東京 木村生

▽別に法規で禁じてないのだから、小學校の先生が相場に手を出したつて、法律上の罪にはなるまい多分その點で云へば、教師が待合を開くのも、藝者屋を出すのも、差支へないのでは無いのではなかつたかと思ふ。
 併し徳義的にそれがよくないのは、常識で分り切つた話だから、それを禁止する法規を作る必要がないのだ。

▽かつて基督界の長老押川方義氏が、教勢の振はないのは、一に財源が乏しくて諸施設が完全に出來ない點にある。基督教を盛んならしめやうと思へば、先づ金を作らなければいけないと云つて、相場をした事があつた。そしてその結果はやはりよくなかつた。
 ▽結果のよくなかつた原因は他にもあらうが、何よりも私は金、金、金、とナポレオンの戦術のやうに金を第一に置くその考へ方がいけないと思ふ。随つてその金を作るために擇ぶ道もよくない事になつてくる。
 「動機善」の學説は今日の倫理としては成立しないかも知れないが、やつぱり一

面の眞理はあるのだ。
 ▽で、小學校の先生が相場をするに云ふ事だけでも私には愉快でないのに、況んや授業をうつちやつておいて、教員室でラヂオを聞いてゐるに到つては、私の心は暗然たらざるを得ない。
 その矢先きに、このやうな新聞記事を見ると、師道まだ廢れずと、明るい氣持になるを禁じ得なかつた。
 このやうな先生が一人あつると聞くだけでも心強いと

- 明日の献立○
 - 【朝】味噌汁—あさり
 - 【昼】煮付—いか 焼豆腐
 - 【晚】青豆スープ 鮭
 - フレイ(輕やか)
 - 野菜サラダ コーヒー
 - 果物
- 人あれば、お母さん達は安心して可なり。百人あれば日本の前途は洋々たるものである。

宗正らひた

美味! 芳醇!

山崎合名會社 電話一〇番

外 科 專 門

木村外科醫院

花柳病科

自炊入院の便あり


電話三〇九番
 平町六丁目橋際

春の...

レンコート
 春のオーバ
 春のセビロ

御用命を!

平町四
 正札堂洋服店
 電話四三番



喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 仕舞 白土會

入會時隨 電話一二七番

藤沼醫院

内科 小兒科 花柳病科

平町紺屋町 電話五〇七番

お花見の...

お歸へりには是非

非常時日本の更正に皆様の御健康を護る最も進歩せる洋食と支那料理

▽三大モットー—
 △味良く(自信の出来る研究の結果を)
 △量多く(自ら庖丁を手にして他人に委せはす勉強振りを量に依つて現します)
 △衛生上(加熱消毒を致します)

田町銀座街より一步御入りになれば、感じよい設備で御家庭を延長した御氣分が味はれ驛にも近く御便宜で御座います

◎材料は日々京濱地方より新品到着致します

出前迅速

平町田町

福壽軒

電話二一八番

開店御披露

幽靈横町の

おでん甚平

腕は江戸前
 味自慢

おでん かん付

◎是非御氣輕に御試食を...

田町五(三丁目裏通り)

放火か密會?

現場にマツチ

高柳耳鼻の不審火 危く大事に致る處

平町驛前高柳耳鼻醫院の便所附近から廿五日午前二時頃出火、危く大事に至る處を消防組出動漸く鎮火附近への延焼を免れた、原因並に損害は目下平署で調査中であるが便所外部の芥箱の傍らに芥を詰め込んだカマスがあり火は其處から生じた

生徒等が自治的に

校風の刷新を圖る

平第二小學校の自治會は兒童の互選で役員其他を選み自治精神の涵養上相當効果をあげてゐるが本年度新役員は

常任幹事古市訓導、會長佐藤久子、副會長鈴木龜代、記録係高木光子、杉山ツキ、通達係片島アヤ子、大木アサ子、その他各學級自治會誌を持ち集つて自治題を相談し生徒自身が校舎刷新に努めて居るが申合せの主なるもの左の如くである

皇室や御國の御恩を常に忘れず忠義な生徒になりませう、先生や親の御恩を忘れない孝行な生徒になりませう、校訓を守り平第二小學校の生徒と

花のけほ 夏川井の谷

て恥ないやう努めませう、學校の内外を清潔にし整頓させよう、自分の努めを果して人の模範になりませう

平郡線夏井川溪谷には若草の芽生の今日此頃ほけの花が満開となり川前小川間経路に沿つて全山に紅挑の色彩を點彩して旅情を惹いてゐる

平局出張延期

既報平郵便局の松ヶ岡公園臨時出張所は昨廿四日閉鎖する

管であつたが明廿六日の日曜まで延期した

阿彌陀堂

遷座式舉行

白水阿彌陀堂遷座式は五月三日午前十一時文部省並に縣社寺課より係官臨席して舉行、御詠歌會、芝居等がある

教員俸給

未拂五町村

石城郡各町村の小學校教育俸給未拂額は過般來整理中の處不名譽な三ヶ月以上は一枚もなく現在未拂は五町村八校四千二百四十五圓である

結核豫防

ピラ撒布

来る廿七日全國一齊に施行される結核豫防デーに際し平署では管内各町村役場、平醫師團、平看護婦會、石城看護婦會と協働ボスターを配付する外左記の如き標語のチラシを配つて主旨の徹底普及を圖ることになつた

△健康に勝る實なし△不潔は萬病の因△唾や痰は必ず痰壺に△衣類や寝具は時々日光に△常に大氣と日光に親しめ△長く働き良く休め△豫防の一錢治療百圓

小名濱を皮切りに

苗代の播種始まる

一般は一週間位遅れる

石城地方の苗代播種は小名濱部の二十一、二日を皮切りとして今月下旬頃までに全部終了の見込みであつたが今年には氣候の寒冷に禍ひされ一般に一週間位遅れて居る

△植田支部 加藤萬年
鈴木誠一 下山田義一
△四倉支部 田中竹久 大友幸也

優良運轉手

郡下受賞者

明二十六日喜多方高女講堂に開かれる縣自動車總會で表彰される郡下の優良運轉手は左の如くである

△平支部 草野秀雄 菅本多一 木田三郎 渡邊忠 山崎常 木田謙

町村長評議會

町村長評議會は廿八日午前十時から平町會議室

米穀優良生産者を

けふ受檢組合が表彰

石城米穀受檢組合優良生産表彰式は本廿五日午前十時から平町役場會議室で左記諸氏が表彰された

鹿島村門馬豊 夏井村山崎喜八郎 草野村阿部英一 全宇佐美彦次郎 神谷村富波高寧 平窪村福田庄三 飯野村山崎糸七 高久村田中木鶴 小川渡邊高治 渡邊岡部政重 泉吉田實 大浦村佐藤繁 全高崎龜太 全丹野彌藤 太 大野木村富太 全吉田松吉 勿來石井速水 錦荒井一二 植田赤津又一 山田坂本肇

四倉消防視察

四倉消防組員四十名は昨廿四日

長谷川小頭が引率して茨城栃木兩縣下の消防視察に出發した

平職業紹介所報告

十五日雨の爲め廿八日に延期された

回 人を求める方

△女中 卅才迄 尋卒 給二一五圓外チツツ
△三助 五十才迄 給五圓
△料理下働 四十才迄 給料面談
△賄婦 五十才迄 給五圓
△配達 廿才前後 給五圓
△出前持 十五才迄 給料面談
△雜夫 卅才迄 給十圓
△雜役夫 四十才迄 尋卒 給面談
△出前持 廿才迄 給五圓 外仕着
△石炭配達 卅才迄 給十五圓
回 職を求める方
△自動車修繕見習 廿五才 高卒
△自動車助手 廿六才 高卒
△事務員 廿才 商卒

石炭

平驛前 阿部石炭店 電話三十七番

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男
平町田町 (電話五八番)
藤田女學校前
炊のお需めに應ず
入院の便あり

合鍵で口を開き 覆面強盗を自供

人夫に化けた共犯も捕る

偶然な平署の大捕物

(既報)去る廿二日午後四時半頃湯本町字開船地内で平署員が逮捕した擧動不審の男は口を緘して語らぬが合鍵卅數個を所持してゐるため稀代の破蔵犯と睨み、安藤刑事部長、草野刑事等が嚴重に取調べを續ける一方各方面に照會した結果右は茨城縣鹿島郡大谷村生れ前科一犯長岡伊平(三)で去る十九日夜茨城縣磯原町附近の農家の土蔵から靱五俵と衣類入り大型トランク並にリヤカーを窃取、磯原驛から泉驛まで鐵道で輸送、廿

一日これを受取り湯本町で賣却せんとして逮捕された事を遂に自白、更には昭和六年五月二十日茨城縣久慈郡西小澤村梶山セイ(五)方へ覆面して仲間同縣多賀郡高岡村鬼澤辰之助(三)と共に押入り家人を脅迫、二圓八十錢を強奪したこと判明共犯の鬼澤が茨城縣松原管内で杉皮ひき人夫として働いてゐること自供したので安藤刑事部長は廿四日松原署の應援を得て鬼澤を逮捕した、尙他にも餘罪多數ある見込で追究中

病苦の身に

悪事を企む

貯金通帳變造

懲役一年求刑

住居不定無職相馬郡上真野村山下字中の四五山田吉次郎(三)に係る郵便通帳改竄事件は廿五日午前十時より平支部で中島裁判長係り香西野木兩判事陪席、清田檢察立會、大嶺官選辯護士立會で開廷され、犯人吉次郎は素直に犯行を自白犯行

明瞭となり清田檢察より懲役一年の求刑あり大嶺官選辯護士より減刑論があつた判決言渡は来る卅日午前十時
同人は諸所を流浪の未昨年十二月二十九日から湯本町傾城木賃宿小松屋事相原佐助方に滞在して病

危機一髪の湯本局

敏感な局員に観破さる

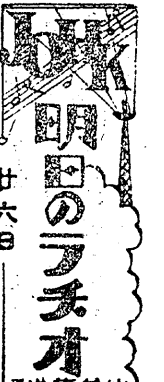
別稿一大それた貯金通帳變造行使を謀つた山田吉治郎の犯行の遺り口を聞くに一念に變造した通帳を以て二月廿二日午後二時頃湯本局の混雑に紛れ通帳を窓口に差出した處係の女事務員はそれとは氣付かずすつかり手續きを済し十圓札十五枚を正に手渡さうとした刹那他の係員が同人の風体と通帳の古いのを怪しみ「一應

醉餘の喧嘩

殺人の急報に

平署押取り刀

昨廿四日夜十時五十分頃松ヶ岡公園内で殺人事件ありと急報に接した平署員が押



明日のラジオ

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
「うたのおけいこ」 黒澤貞子
後六、二五 講演「米の鑑定貯蔵並に炊き方」工藤文太郎
後七、三〇 子供と家庭の夕胡蝶座、寶塚歌劇生徒
後九、〇〇 時事解説「エチオピアの潰滅とトルコの海峡再武装」芦田均
後九、三〇 時報 ニュース
明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部
前七、〇〇 小鳥の啼聲
前九、三〇 子供の時間「うたのおけいこ」 黒澤貞子
前一〇、〇〇 日曜勤行
三條市法華宗總本山本成寺本堂より中繼(新潟)
前一一、〇〇 講演「對支回顧」松井七夫
前一、二〇 講演「スポーツ醫學の使命」東陽一

後〇、二〇 六大學野球試合實況：神宮球場中繼：後〇、五〇 滿州より「伸び行く國都風景實況」新京特別市大同廣場付近より中繼
後六、〇〇 子供の時間
物語「ロビンソン漂流記」田中賢司
後七、三〇 ギャイオリンとピアノ、ゴールドベルグとクラウス
後八、〇〇 靖國神社招魂式實況—靖國神社中繼

今晩も明日も南の風晴時々曇り

馬が殺人事件と急報したものであつた清治は自宅潜伏中を廿五日午前一時平署員に逮捕された

赤井村小川郷驛前白川製材工場職工高橋喜太郎(七)は二十四日午後五時頃製材作業中誤つて足をすべらし倒錐に巻き込まれ肋骨を骨折瀕死の重傷を負つた

花の山にスリが現る
前科十三犯の大親分を檢舉

廿四日夜九時頃お花見客で賑ふ松ヶ岡公園園内で花見客の平町材木町秋山甚三郎君の袂から八十一錢在中の墓口を掏摸取つた者あり平署で季節時掏摸が入り込んだものと見て手配中裏公園の暗がり徘徊する男を擧動不審と睨み署員が逮捕したが右は北會津郡内田村生

川前で講習
東北生活更新會福島支部主催で五月三、四兩日川前村に榮養改善指導講習會を開くが講師は縣の八鐵營養士である

善光寺行團體
平署で募集した長野善光寺詣り團體五百名は二十七日平驛を出發するので平驛では小川赤井方面の參加者の

平町南町
看護婦急派
求めに應じます

平町南町
看護婦急派
求めに應じます

平町南町
看護婦急派
求めに應じます

平町南町
看護婦急派
求めに應じます

平町南町
看護婦急派
求めに應じます



(著上談上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

一〇五 地藏堂へ

青木彌太郎は山の宿の御用聞庄七その他の者の江戸のかたを指して駆けゆくを追はむとする本多孫三郎を止めて

彌「助けてつかはせ彼等を斬ればとて何等の益もないぞ」
孫「それでは助けることに致しませう、それにしてもお花は何うしました」
彌「川へ落ちたが八百松が救ひあげるであらう、それにまだ一艘舟もある我々はこの舟にて一時市川へ引揚げてこれに忍び居る内にはお花の生死も判るであらう、これ船頭」

と呼ばれてカキを肩にしてそれへ来たは清六
清「青木の旦那、あぶねえ思ひをしなすつたの、俺はこのカキでそこに死んでゐる侍を叩きのめしてやつた……」
彌「イヤ大きに御苦勞であつた、ところで船頭我々は一時市川に引きあげるをここまでこの船にておくつてくれ」
清「承知しました、市川は何處へ行かつしやるの、あの邊は代官の支配地です」

に八州役人もまはつてゐるだから氣をつけなせえ」
彌「それは心得て居る、では船を出してくれ」
清「船を出すは承知だがあの綺麗な女子は何うしたな川へ落たは見たが助けてゐる間がねえだ」
彌「それは松がたづね出す



り船へ乗る、青木彌太郎に本多孫三郎、岡田盟の三人も船へ乗つた、この時雨も小降りとなり雷はまつたくしづまつた。船は次第々々に下にくだる。
こちらはお花一旦水におちたが流れが強いために忽ち下に運ばれて体を蛇籠に打ち付けられた時杭にすがつてやうやう上つたが体はいたみことに足には負傷をしてゐるそれを堪へてホツと息つき亂れた髪をかきあげながら四邊を見廻し

花「こゝは何處だらうね、暗くつて判らないが青木さんや松さんは何うしたらうてゐる。濡れ縁へ上り格子をひらいて中へ入ると三坪ばかりの廣さ、正面には石の地藏尊、赤木綿の涎かけをして錫杖を掲げ玉を手の平へ乗せてゐる、前にあるは賽銭箱、左右の破目には繪馬がかゝつてゐる、お花はその賽銭箱の前に来て

あゝ胸がいたんで来た」
と下をむいたが同時に下腹が挫られる様な痛みをおぼえ飲んだ水をはいて一時はこゝに休れてゐたがやうやく氣力を恢復して起き上り堤に上つてみると、此堤の下に堂がある、こゝで休息しやうと這う様にして堤をおりその堂の前まで来てみるとこれに地藏を祀つ

であらう」
清「さうかね、この雨で水が増してゐるだからことによると死なれたか、あんな美しい女をこゝろすはおかしいものだ、まあ何しろ出かけませう、市川まで行くうちにはあの女を助けることも出来るかも知れねえ、さあさ乗らつせえ」
清六は蓑を着て笠をかむ

折しも開ゆる足音、この夜更けにこゝへ来たは何者かと格子の間から

折しも開ゆる足音、この夜更けにこゝへ来たは何者かと格子の間から

そぎさらつて来るつもりだらう」といひつゝ向ふを見た。
看護婦急派
求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七

御會葬御禮
四月二十五日
箱崎瀧三郎

御送見の折詰
花見折詰の準備が出来ました、何卒御用命の程御待ちして居ります
すし折詰 二十錢より
魚折詰 二十錢より
今年には特に目新しい材料を豊富に仕入れましたから精々勉強致します
●おいしき水豆初めました

魚清食堂
平二番茶屋通り
虎活六三三

社員採用
固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歴書持參本人來談
平町鍛冶町十八
日本商事株式會社平支部

平・田町
レストサロン
電三五二番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める
川崎文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町
レストサロン
電三五二番